

| 2021年度第2回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要 | |
|----------------------------------|--|
| 開催日時 | 2021 年 6 月 10 日 ～ 2021 年 8 月 26 日 |
| 開催場所 | 書類審議のため、全委員に閲覧 |
| 出席委員 | 市原、森、北村、原、山中、種瀬、伊藤、大塚、清水、坂（敬略称、順不同） |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 加藤 康太 |
| 研究名 | 当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者に対する栄養介入が日常生活に与える影響について |
| 研究内容 要旨 | 当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折の高齢者に対する栄養補助食品による栄養介入の効果と歩行能力の変化、および日常生活動作との関係について調査する。 |
| 審議結果 | 承認 2021-4 |
| 参考 | 本来ならば委員会を開催して審議することが必要な事案である。 また、今回の申請は再申請である。 前回申請時、書類を各委員に送付し、各委員により詳細な検討を行った。 各委員より意見が出され、検討すべき事項について、一度申請者に差し戻した。 今回検討事項についての回答及び修正された申請書が提出され、再度各委員に送付し、詳細な検討を行い、委員全員の承諾を得た。 以上の検討経過より、本来ならば委員会を開催して審議することが必要な事案であるが、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点より委員会を開催して審議したとみなした。 |
| 研究計画変更の審議 | |
| 申請者 | 加藤 康太 |
| 研究名 | 当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者に対する栄養介入が日常生活に与える影響について |
| 研究内容 要旨 | 当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折の高齢者に対する栄養補助食品による栄養介入の効果と歩行能力の変化、および日常生活動作との関係について調査する。 |
| 審議結果 | 承認 2021-4-2 |
| 参考 | 栄養補助飲料である「サルコファイバー」が販売中止となり、新規商品である栄養補助飲料「エプリッチパウチゼリー」を使用するための研究計画変更申請であるが、まだ研究が開始されていないため、この変更によって研究結果に影響を与えるとは考えられないため、研究計画書の軽微な変更に関する審議として、書類審査による迅速審査とした。 |

| 新規研究計画の審議 | |
|------------|--|
| 申請者 | 上田 奈央 |
| 研究名 | 回想法を通して交流することが高校生の持つ認知症高齢者に対するイメージに及ぼす影響 |
| 研究内容 要旨 | メモリーカフェ「日本」では、グループ回想法を用いて認知症高齢者と多世代のなじみの場をつくっている。今回、高校生を対象にメモリーカフェ「日永に参加する前後に認知症高齢者へのイメージに関するアンケート調査を実施し、回想法を通して認知症高齢者と交流することでイメージがどのように変化するかを明らかにする。 |
| 審議結果 | 修正して承認（確認は委員長に一任） 2021-5 |
| 意見 | 「侵襲を伴わない研究であって軽微な介入を伴うものに関する審議」であり、「心理的苦痛を伴わないアンケート調査」と考えられたが、委員会を開催して審議することが必要と言う意見もあったため、コロナウィルス感染拡大の防止の観点より、書類を各委員に送付した上で、十分な書類審議を行い、委員会開催にかえ、その結果、修正して承認とした。 |
| 修正箇所 | 研究実施の了承を学校長から得ること 回想法の説明の追加 各アンケートから研究対象者の氏名を外す |
| 研究計画変更の審議 | |
| 申請者 | 上田 奈央 |
| 研究名 | 回想法を通して交流することが高校生の持つ認知症高齢者に対するイメージに及ぼす影響 |
| 研究内容 要旨 | メモリーカフェ「日本」では、グループ回想法を用いて認知症高齢者と多世代のなじみの場をつくっている。今回、高校生を対象にメモリーカフェ「日永に参加する前後に認知症高齢者へのイメージに関するアンケート調査を実施し、回想法を通して認知症高齢者と交流することでイメージがどのように変化するかを明らかにする。 |
| 審議結果 | 承認 2021-5-2 |
| 参考 | 高校生に対するアンケートということを踏まえてアンケートの文言を柔らかい表現にしてほしいとの学校長からの依頼によるアンケートの文言の変更申請であるが、この変更によって研究結果に影響を与えるとは考えられないため、研究計画書の軽微な変更に関する審議として、書類審査による迅速審査とした。 |

研究計画中止の審議

| | |
|------------|---|
| 申請者 | 上田 奈央 |
| 研究名 | 回想法を通して交流することが高校生の持つ認知症高齢者に対するイメージに及ぼす影響 |
| 研究内容 要旨 | メモリーカフェ「日本」では、グループ回想法を用いて認知症高齢者と多世代のなじみの場をつくっている。今回、高校生を対象にメモリーカフェ「日永に参加する前後」に認知症高齢者へのイメージに関するアンケート調査を実施し、回想法を通して認知症高齢者と交流することでイメージがどのように変化するのかを明らかにする。 |
| 審議結果 | 中止 2021-5-3 |
| 参考 | コロナ感染の拡大により、高等学校のクラブ活動が停止となり、上記研究の遂行が不可能となり、この研究は一旦中止とする |